

# 令和2年度 赤穂市学校(園)評価 外部評価報告書

学校園名 赤穂市立城西小学校

## 総合的な学校園関係者評価

### 1 本年度の学校(園)経営方針

学校教育目標

＜夢と志を持って学び続け、未来をたくましく生き抜く児童の育成＞

(1) 自ら学ぼうとする意欲を高める授業づくりを推進し、確かな学力を育てる。  
 (2) 一人一人の内面に対する共感的な理解を深め、人も自分も大切に支え合う学級・学年・学校づくりを推進する。  
 (3) 「赤穂義士と教育」など、ふるさとの文化・歴史・人物との関わり合いを通して、「城西大好きっ子」を育てる。

- ・コロナ禍での教育現場は大変だったことを察するが、そのような中で、「学校は楽しい」という児童アンケート結果から窺えるように、自己評価の結果は適切である。
- ・リモート学習をはじめ新しい学習方法の導入など、教育の変換を求められている中、新学習指導要領に基づく指導などについて、教職員の意識を変えていく必要がある。
- ・新型コロナウイルスの為、様々な活動が規制されるが、安全・安心、楽しい学校生活作りに期待する。
- ・学校の様子を見る機会が少なかったことは残念であったが、外部の者として協力は惜しまないので、有効に活用してほしい。
- ・今後も、子供達が生き生きと育っていける環境作り環境を維持できるよう期待する。

### 2 本年度の学校(園)重点目標

- 1 個を生かす学習指導の充実
- 2 豊かな人間性の育成
- 3 強い意志とたくましい体づくり
- 4 家庭・地域とのつながり・信頼・連携の促進
- 5 学校の組織力及び教職員の資質・能力の向上

## 学校園関係者評価

### 3 自己評価結果 (A～D) A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

◎:適切である ○:ほぼ適切である △:あまり適切でない ×:適切でない

観点 (重点目標)	評価項目 (学校園・教師の取組)	評価資料	達成状況	改善の方策	自己評価は	改善方策は	課題と来年度具体的改善方法
					適切か	適切か	
1 個を生かす学習指導の充実	項目 指 標	児童が学ぶ喜びを味わえる授業づくりを進められたか。	ノート 日記 日々の授業 毎時間の発言 アンケート	B	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中ではあったが、昨年度に引き続き一人一研究をもとに学年ブロックで研究に取り組むことで、日々の授業の質向上が図られていると感じる。児童が学校が楽しいと感じられる要因として、児童の興味関心を踏まえた授業作りが大きいと思われるので、今後も継続して授業改善、授業の質向上に取り組み、学びの充実を図ってほしい。</li> <li>・今年度は児童同士の関わりを通して、考えたり表現したりする活動に制限があった。今の状況で何が可能なかを学校全体で改めて見直し、児童一人一人が自分の考えをもち、協働的な学習に取り組むことで、主体性、思考力を磨けるよう努めてほしい。</li> <li>・学習内容の習得には課題が見られる。授業改善はもとより、反復的な学習や家庭との連携による家庭学習の充実を図り、学びの定着を更に高めてほしい。</li> <li>・特別活動の充実により、教育活動の様々な場面で目標を設定し、その振り返りを行うことで、子供達一人一人が夢や目標をもてるようにしてほしい。</li> </ul>
	項目 指 標	児童一人一人が成就感を味わえる授業づくり・支援ができたか。	ノート 日記 日々の授業 毎時間の発言 アンケート	B			
	項目 指 標	児童の意欲を高めながら、きめ細やかな指導が進められたか。	テスト ノート 日々の授業 毎時間の発言 アンケート	B			
	項目 指 標	各教科・総合的な学習の時間等において、「考える力」「表現する力」を育成できたか。	テスト 日々の授業 毎時間の発言 アンケート	C			
	項目 指 標	夢や志をもとに、具体的な計画を立てることで、それに向かうキャリアプランニング能力が育成できたか。	日々の授業 毎時間の発言 キャリアノート キャリアパスポート アンケート	B			
2 豊かな人間性の育成	項目 指 標	児童の自己有用感・自尊感情、コミュニケーション能力を高めることができたか。	日記 日々の活動 毎時間の発言 アンケート	A	△	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケートや日々の観察を通して、個々の児童の様子や相互の人間関係作りに努めている。また、生徒指導担当を中心として、生徒指導委員会をもとにいじめや不登校につながりそうな事例を共通理解することで、一定の成果を得ている。今後も、きめ細やかに児童を見守り、いじめ防止に全力で取り組んでほしい。</li> </ul>

	観 点 (重点目標)	評価項目 (学校園・教師の取組) 評価指標及び目標値(期待される姿)	評価資料	達成状況	改善の方策	自己評価は 適切か	改善方法は 適切か	課題と来年度具体的改善方法
2 豊かな人 間性の育 成	全教育活動 を通じた道 徳教育の充 実	項目 道徳の時間を要とし、全教育活動を通して児童の内面に根ざした道徳性を養えたか。 指標 児童が日々の生活や学習の中で、道徳性を発揮できている。(特に規律・思いやり)	道徳の授業 道徳ノート 日々の様子 アンケート	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳の時間における授業の基本形を全ての教師が把握し、実践できるよう研修を行う。</li> <li>人権教育において日頃から行っている取組を教職員同士で共通理解し、教職員の人権感覚向上に努めることで、児童の人権感覚の育成を図る。</li> <li>各学級における週案を作成することで、支援を要する児童に対して適切な支援計画を組むことができています。支援を要する児童は今後も増加していく傾向にあると考えられる。そこで、今後も実態に基づく支援について、保護者と学校が連携し、個々の実態に寄り添った指導に取り組んでいく。</li> </ul>	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳の教科化の背景には、いじめ問題の深刻化がからんでいる。教職員一人一人がそのことを認識し、児童の規範意識や道徳的価値の習得に努めていると感じている。今後、一層の授業改善を図り、児童が自らよりよい生き方について考える授業作りに取り組んでほしい。また、その学びを保護者にも還元することで、学校・家庭が一体となって、児童の人間形成に努めてほしい。</li> <li>児童一人一人を大切にされた教育が図られていると感じている。支援の在り方は個人によって様々なため、児童の見取りや手立ての工夫、その対応には大変な労力を伴うと思われる。児童一人一人が豊かな学校生活を送ることができるよう、引き続き取組を進めてほしい。</li> </ul>
	全教育活動 を通じた人 権教育の推 進	項目 「学習活動・人間関係・環境づくり」が一体となった取り組みを進められたか。 指標 自他を大切にしようとする心情が育まれている。	日記 日々の様子 日々の授業 校舎内外の様子 アンケート	B				
	特別支援教 育の充実	項目 合理的配慮の観点を踏まえた指導計画の作成、適切な支援により能力や個性を伸ばすとともに自立心・社会性を養えたか。また、特別支援教育についての児童保護者への啓発に努められたか。 指標 支援を必要とする児童が、本人と指導者で共通理解した目標に向かって、安心して生き生きと学校生活を送ることができている。	個別の指導計画 個別の教育支援計画 日々の授業 日々の様子 アンケート	A				
3 強い意志 とたくま しい体づ くり	健康安全と 生命を育 む 体力・気力 づくり	項目 体育科の充実といのちを感じる保健安全指導の充実に努めることができたか。 指標 児童は、心身共に生き生きと学校生活を過ごし、学校生活や学習活動に前向きに取り組んでいる。	体育の授業 体育的行事 休み時間の様子 保健室の様子 アンケート	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童アンケートの結果から、「体を動かすことが好きで、休み時間には外で遊んでいる」と8割の児童が答えている。残り2割の児童が進んで外遊びを行えるように、外遊びのしやすい環境作りや、教師もいっしょに遊ぶことに努める。</li> <li>アンケート等を活用し、児童の実態調査に努め、保健便り等を定期的に発行することで、保護者への啓発に努める。</li> <li>避難訓練に臨む児童の姿勢が、年々真剣さを増している。その必要性をきちんと指導し、今後も意識向上に努める。</li> </ul>	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校休校期間における家庭で過ごす時間の使い方は児童ごとに様々であり、タブレットやスマートフォンの普及と相まって、よりよい生活習慣を確立することは喫緊の課題であったと思われる。「スマホ安全教室」の実施、「城西っ子ゲーム・ネットの約束」の徹底、「早寝・早起き・朝ご飯」の啓発等、粘り強く保護者と協力して取組を進めてほしい。</li> <li>火災、地震、津波等の各種避難訓練は、多様な方法で継続実施し、参加する意識や関心を高めることが重要である。保護者や地域と連携した取組をすすめることについても今後検討してほしい。</li> </ul>
	基本的生活 習慣の確立	項目 「早寝早起き朝ごはん」「ノーゲームデー」運動の啓発と、あいさつ・返事・食育に関する指導を充実させることができたか。 指標 大きな声で自分からあいさつができる。無言清掃に取り組んでいる。	日々の様子 (登下校の様子) (清掃時の様子) 生徒指導委員会 学校保健委員会 アンケート	B				
	安全教育の 充実	項目 学校安全生活に基づき、交通安全教室、防犯教室、避難訓練において、効果的な実施ができたか。 指標 避難訓練に真剣に取り組む自分で自分の身を守ろうとする意識を高めることができています。	避難訓練 日々の様子 アンケート	A				
4 家庭・地 域連携 の促進	開かれた学 校づくり	項目 学校の教育活動に関する情報を地域や家庭に提供できたか。 指標 学校での児童の生活や学習の様子について、学校は広く保護者や地域に情報を提供することができる。	学校だより 学年だより 連絡帳 ホームページ オープンスクール アンケート	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の参観機会が少なくなったため、児童の様子を、学校、学年、学級便りの内容を工夫して発信してきた。更なる開かれた学校作りに努める。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策のために、学校行事や学年行事等、断念したり方法を変更したりしたため、地域の教育資源の活用を図りにくいことが多かった。新しい取組に合わせた、教育資源の開発に努める必要がある。</li> </ul>	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校に足を運ぶことができる機会が減ってしまっている中、学校便りやホームページ等による情報発信は必要不可欠であると考えます。また、連絡メールシステムを活用し、迅速な情報提供に努めるなど、学校教育活動に対する理解・協力が得られるよう取組を進めてほしい。</li> <li>コロナ禍において地域の教育資源の活用が図りにくい状況であるが、ビデオ撮影やインターネットを活用した新しい取組についても吟味してほしい。</li> </ul>
	地域の教育 資源の活用	項目 学校支援ボランティアやゲストティーチャーなど、地域の教育資源の活用を図れたか。 指標 学校支援ボランティアやゲストティーチャーを活用して、教育活動の充実を図ることができている。	学校支援ボランティア ゲストティーチャー	C				

#### 自己評価における特記事項

- 開かれた学校作りの一環として、ホームページの活用方をさらに模索していきたい。今年度は、新型コロナウイルス感染症の予防の観点から地域の方や保護者が来校できる機会が少なかったため、今後活動写真等の更新回数を増やすことなど運用の工夫を行っていく。
- 支援が必要な児童に対しての理解や働きかけが特定の教師のみに陥らないよう、全教職員の共通理解のもと教育活動にあたる必要がある。

#### 項目以外の点での来年度の課題や具体的改善方法

- 新学習指導要領の実施や、新型コロナウイルス感染症の予防対策など、全校が同一歩調、同一意識で取り組む必要がある機会が増えてきているので、教職員一人一人が、それら課題に対する意識を高め、教育活動に取り組んでいく。
- 学校行事の精選を行うことで、教師が児童と向き合う時間や、児童の学力向上につながる教材研究の時間を確保する。